

2015アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名[中村学園三陽中学校・三陽高等学校] 担当教諭名[轟田 賢良] (中学・高校書道部 7名)
 交流相手国[タイ]
 海外学校名[Setsatian school for the Deaf] 担当教諭名[高石 淳一]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	特別活動 (部活動)	書道部での活動における国際協同学習 タイの調べ学習・ICT活用(3)・ビデオ制作(3) 下絵(3)・制作(10)・鑑賞振り返り(1)	20

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	言葉を越えたコミュニケーション (Communication beyond words)
絵に込めたメッセージ	日本の漢字と手話とが同じく持つ表意性のリンクに意義を見出して、漢字(書)の持つ意味と、それと同じ意味を表す手話の絵画とが融合した作品にしたいと考えました。音を介することなしに、望ましい国際的な未来を作っていくための生徒たちの目に見えない気持ちの交流が感じられたら幸いです。



※中央「愛」の文字は、下絵の都合上、協議してこちらで作品を制作し、タイに郵送して、写し書きしていただきました。

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
今回の取り組みは、教育の2020年問題を目前にした本校のグローバル教育への具体的な足掛かりの一つとなっただけでなく、議論のための貴重な機会を与えられたと考える。また、何よりも、生徒たちの生き生きとした活動の舞台を提供でき、国際的な視野や芸術観も大いに広がりをみせたと考える。	今回は、書道部での取り組みとなったが、今後は、こうした国際協同学習への取り組みを、クラス単位もしくは全校へと広げられたら幸いである。また、本校の生徒一人ひとりが持つタブレットなどを駆使しながら、生徒同士によるさらなる主体的な活動や交流が促進されるよう指導助言していかなければならないと考える。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
日頃は、部活動の中で書道パフォーマンスや各自の臨書学習に励んでいる生徒たちに、国際的な視野から「書」表現の広がりや芸術活動の多様性を見出させることが出来た。また、海外の聾学校の生徒たちとの交流により、障がいに対する認識を広げ、国際交流の価値観を豊かにすることができた。	自国の書道と、タイの絵画がどのようにコラボレートするのか興味津々であり、作品の完成が大いに楽しみであった。これだけの大きな作品を異文化に育ったものたちがともに作り上げることの意義深さを感じさせられたのと同時に、芸術制作における教育活動の普遍性などを再認識した。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活 動 内 容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	8月 9月	本校書道部の活動の様子を動画にとって編集。書道パフォーマンスの公演の様子などを挿入。写真などもフォーラムに掲載した。	まだ見ぬ海外のパートナー校の生徒たちを想像しながらの作業であった。海外の同世代の生徒に自分たちの映像が流れることを意識していた。	部活動
テーマ学習	10月 11月	「愛」をメインテーマとして、輝かしい未来を想像するキーワードの選出。パートナー校の担当者との情報交換によって選定。	平和の尊さ・命の重さ・絆の温かさ・平等の精神・友のありがたさ・・・など、多くのキーワードを選出。日々の活動と違って、世界共通の課題を考えるという新鮮さがあったようだ。	部活動
構図決定	11月	スカイプやメールを通じて、壁画の構図について協議した上で、最終の下絵については、協議のパートナー校の担当者が美術専門のため、そちらが担当し、日本に持参。	決定した構図に従い、具体的な描画内容を検討。日頃は書道に明け暮れている生徒たちであったが、自画像やタイのイメージ画を考えるのが大いに新鮮であった。	部活動
壁画制作	11月 12月	出来るだけ早く仕上げ、パートナー校に送りたいため、早急に制作した。美術の専門が非常勤のため、なかなか来校しないため、知人等に相談しながらの制作となった。	思い通りの色を作り出すのに苦労したが、最終的には納得のいくものであったようだ。一部、描画内容にデリケートな部分があり、協議の上、タイ側で加筆訂正していただいた。	部活動
鑑賞・振り返り	2月 3月	壁画の到着後すぐに、書道部内での鑑賞会、その後、校内における掲示発表を行った。	特に加筆修正されている箇所への反応が多く見られ、納得していたようだ。また、出来上がった壁画を前に、大いに盛り上がっていた。	部活動

■学習目標(つきたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入（A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった）

「成果」先生の手応え（5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった）

学習目標・つきたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	5	タイのイメージ画にデリケートな箇所があったということが、生徒の大きな発見であり、協議の中で理解が深まったように考える。
異文化の理解	A	5	同 上
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	3	相手校が、聾学校の生徒であったこともあり、英語による生のコミュニケーションはフォーラムの中でしか出来なかったから。
情報活用能力 (情報収集・発信)	C	3	インターネットによる情報収集であったが、情報の授業中にも、また書道の活動の中でも慣れ親しんでいることであるため。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	B	4	書道部の人間関係については、すでに良好な人間関係が形成されているが、今回はさらにそのつながりを強めることが出来た。
協働する力 (役割分担・協力)	B	4	描画の際相手校の書く様子を想像しながらの分担作業は、分業の高度化について考えさせる良い機会となった。
学習を追究する意欲	A	5	日頃の制作活動から、さらに進んで、世界に発信する「書」を考えさせる機会になり、今後の活動にも大きな影響があったから。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	A	4	伝えたいことを「書」で世界に発信することが、生徒の表現に対するモチベーションを高めたように思われる。
作品を鑑賞する力	C	3	今回、教師の側も、鑑賞については特に意識はしなかったが、生徒の鑑賞力についても具体的な変化を感じたとはいえない。